

市民等意向調査アンケート

みんなで考える学校のあり方に
関するアンケート報告

山武市学校のあり方検討委員会

調査の概要

1 調査の目的

学校のあり方に関わる市民等の意識を明らかにし、山武市学校のあり方検討委員会において、市内小中学校の今後の方向性をまとめるための基礎資料とすることを目的に調査したものである。

2 調査対象

- 1) 一般市民 3歳児～中学3年生の子どものいる世帯を除き、抽出は20歳～79歳までを無作為抽出(1,000名)
- 2) 保護者 市立小・中学校、こども園、幼稚園、私立保育園に在籍している児童生徒・園児の保護者(4,154名)
※園にあつては3歳児以上
- 3) 教職員等 市立小・中学校、こども園、幼稚園、私立保育園の教職員(549名)
※非常勤職員、臨時職員(少人数指導講師等)
- 4) 児童生徒 市立小学校5,6年生の全児童(847名)、市立中学校1～3年生の全生徒(1,525名)

2 実施方法

- 1) 一般市民については郵便による配布、回収(返信用封筒同封)
- 2) 教職員、保護者及び児童生徒については各学校(園)経由で配布
※回収は各学校へ教育総務課で対応

3 調査期間 平成25年5月2日(木)～平成25年5月29日(水)

4 回収率

対象区分	配布数	回収数	回収率
一般市民	1,000	324	32.40%
保護者	4,154	2,620	63.07%
教職員等	549	410	74.68%
児童生徒	2,372	2,132	89.88%
計	8,075	5,486	67.94%

5 設問項目

以下のような設問項目によりアンケートを実施した。

	設 問	一般市民	保 護 者	教職員等	児童生徒
属 性	性別	○	○	○	○
	年齢	○	○	○	
	居住年数	○	○		
	学区等（居住・通学校）	○	○		○
	教職員等（勤務の学校種別）			○	
	教職員等（役職）			○	
将 来 像 ・ 学 校 生 活 ・ 学 校 規 模 等	子どもの将来像・将来目標	○	○	○	○
	学校教育・学校生活で重要と思うもの	○	○		
	学校生活で感じること				○
	学校の建物・設備の満足度				○
	学校の児童生徒数について		○	○	○
	望ましい1学級あたりの児童生徒数	○	○	○	
	その理由	○	○	○	
	望ましい1学年あたりの学級数	○	○	○	
	その理由	○	○	○	
学 校 配 置 等 ・ そ の 他	小・中学校の通学距離	○	○	○	○
	適正な学校を維持するための対策	○	○	○	
	統合や通学区域を検討する場合に重要と思うもの	○	○	○	
	地域等、学校が果たしている役割	○	○	○	
	児童生徒と地域の関わり				○
	※自由意見	○	○	○	

6 調査結果

この調査の分析結果を読む際の留意点は、以下のとおりである。

- 1) 「n」は「Number of case」の略で、無回答（不明や無効を含む）を除いた回答者数を示す。
- 2) 「割合(%)」は「n」に対する構成比を百分率で示すが、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位までを表記している。
- 3) 表の着色部分は、「割合(%)」が一番多い項目を示す。

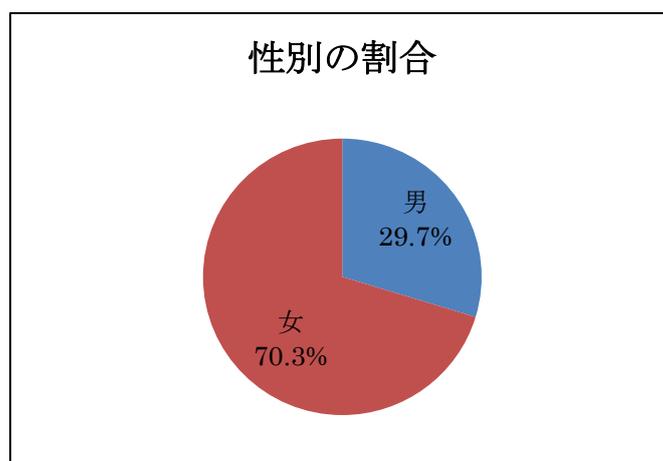
アンケート集計結果(単純集計)

① あなたの性別について、当てはまるものに○をつけてください。

【全対象区分】(一：問1、保：問1、教：問1、児・生：問1)

※問の「一」は一般市民、「保」は保護者、「教」は教職員、「児・生」は児童生徒を表す。

全体では、回答者の70.3%が女性となっている。保護者では女性が約9割占め、一般市民では約6割、教職員では約7割を占める結果となった。



上段:回答者数 下段:割合(%)

	男	女	n計	無回答
一般市民	132 (42.0)	182 (58.0)	314 (100.0)	10
保護者	280 (10.9)	2,289 (89.1)	2,569 (100.0)	51
教職員	127 (31.1)	281 (68.9)	408 (100.0)	2
小学生(5、6年生)	404 (51.8)	376 (48.2)	780 (100.0)	10
中学生(全学年)	653 (50.1)	651 (49.9)	1,304 (100.0)	38
計	1,596	3,779	5,375	111
性別の割合	(29.7)	(70.3)	(100.0)	

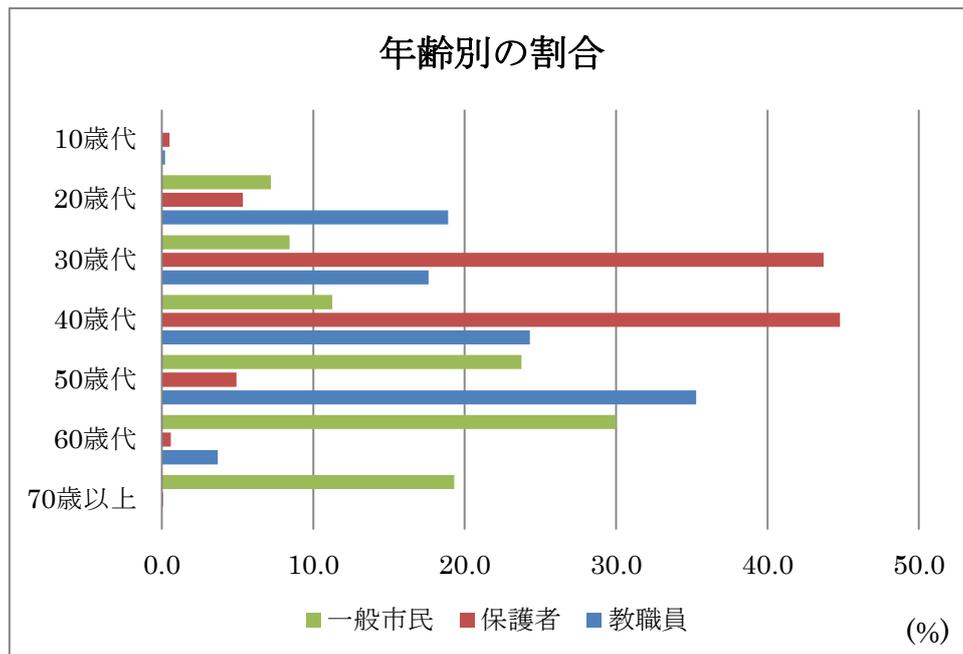
② あなたの年齢について、当てはまるものに○をつけてください。

【一般市民・保護者・教職員】（一：問2、保：問2、教：問2）

年齢別の割合は、「10歳代」0.5%、「20歳代」7.2%、「30歳代」37.1%、「40歳代」39.0%、「50歳代」10.5%、「60歳代」3.8%、「70歳以上」1.9%となっている。

保護者では、「30歳代」と「40歳代」が合わせて約9割で大半を占めている。

一般市民では、60歳代以上が約5割を占め、次いで50歳代が約2割を占める。40歳代以下が少ないのは、3歳児から中学3年生までの子どもがいない世帯が調査対象であるからと思われる。



上段: 回答者数 下段: 割合(%)

対象区分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	n計	無回答
一般市民	0 (0.0)	23 (7.2)	27 (8.4)	36 (11.3)	76 (23.8)	96 (30.0)	62 (19.3)	320 (100.0)	4
保護者	14 (0.5)	138 (5.4)	1,126 (43.7)	1,154 (44.8)	127 (4.9)	15 (0.6)	2 (0.1)	2,576 (100.0)	44
教職員	1 (0.2)	77 (18.9)	72 (17.6)	99 (24.3)	144 (35.3)	15 (3.7)	0 (0.0)	408 (100.0)	2
計	15	238	1,225	1,289	347	126	64	3,304	50
年齢別割合	(0.5)	(7.2)	(37.1)	(39.0)	(10.5)	(3.8)	(1.9)	(100.0)	

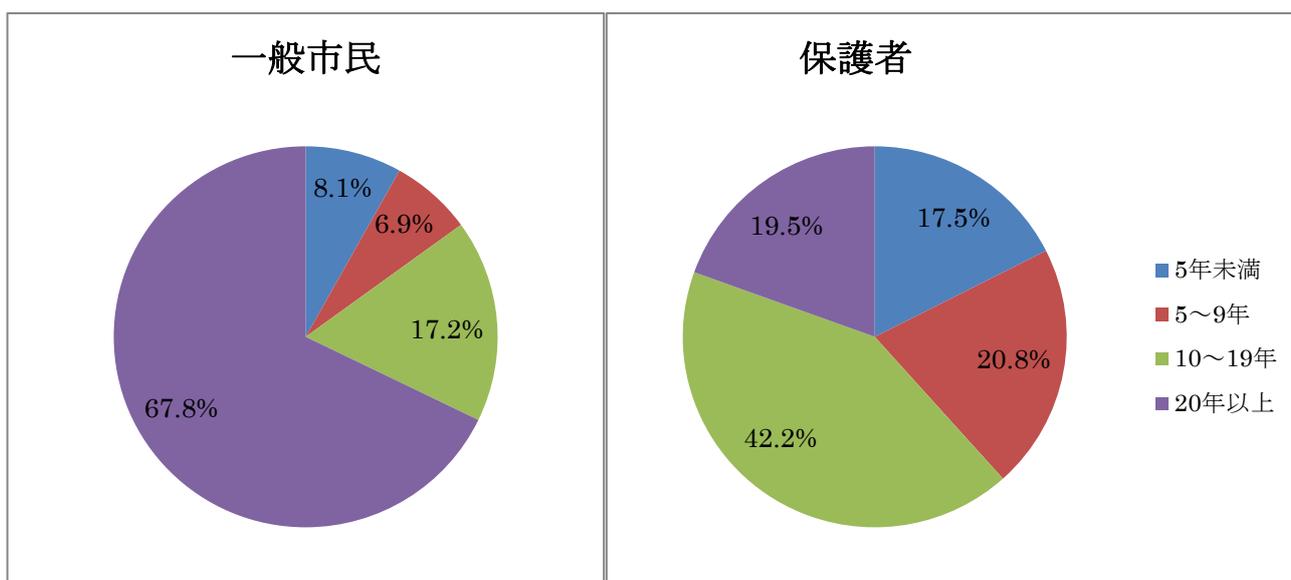
③ あなたの現住所の居住年数について、当てはまるものに○をつけてください。

【一般市民・保護者】（一：問3、保：問3）

市内での居住年数は、全体で「10～19年」39.4%が最も多く、「20年以上」24.8%、「5～9年」19.3%、「5年未満」16.5%と続く。

対象区分別に見ると、一般市民では「20年以上」が約7割を占め、保護者では「10～19年」が約4割を占める結果となった。

回答者は、おおむね本市に居住して10年以上、経ていると思われる。



上段：回答者数 下段：割合(%)

対象区分	5年未満	5～9年	10～19年	20年以上	n計	無回答
一般市民	26 (8.1)	22 (6.9)	55 (17.2)	217 (67.8)	320 (100.0)	4
保護者	450 (17.5)	534 (20.8)	1,081 (42.2)	500 (19.5)	2,565 (100.0)	55
計	476	556	1,136	717	2,885	59
全体の割合	(16.5)	(19.3)	(39.4)	(24.8)	(100.0)	

④ あなたがお住まいの学区、お子さんが通学する学校、勤務されている学校について、当てはまるものに○をつけてください。 【一般市民・保護者】（一：問3、保：問3）

対象区分	上段:回答者数 下段:割合(%)		
	一般市民	保護者	児童生徒
成東小	48 (15.2)	178 (6.9)	70 (3.3)
大富小	26 (8.2)	61 (2.4)	36 (1.7)
南郷小	17 (5.4)	132 (5.1)	107 (5.0)
緑海小	15 (4.7)	96 (3.7)	71 (3.3)
鳴浜小	17 (5.4)	86 (3.4)	57 (2.7)
日向小	41 (13.0)	128 (5.0)	65 (3.0)
睦岡小	31 (9.8)	90 (3.5)	71 (3.3)
山武北小	24 (7.6)	66 (2.6)	52 (2.4)
山武西小	17 (5.4)	71 (2.8)	44 (2.1)
蓮沼小	23 (7.3)	111 (4.3)	69 (3.2)
豊岡小	29 (9.1)	35 (1.4)	20 (1.0)
大平小	17 (5.4)	86 (3.4)	64 (3.0)
松尾小	11 (3.5)	122 (4.8)	64 (3.0)
成東中	0 (0.0)	151 (5.9)	240 (11.3)
成東東中	0 (0.0)	178 (6.9)	280 (13.1)
山武中	0 (0.0)	141 (5.5)	223 (10.4)
山武南中	0 (0.0)	167 (6.5)	268 (12.6)
蓮沼中	0 (0.0)	93 (3.6)	110 (5.2)
松尾中	0 (0.0)	134 (5.2)	221 (10.4)
なるとうこども園	0 (0.0)	76 (3.0)	0 (0.0)
しらはたこども園	0 (0.0)	52 (2.0)	0 (0.0)
なんごうこども園	0 (0.0)	81 (3.2)	0 (0.0)
まつおこども園	0 (0.0)	67 (2.6)	0 (0.0)
おおひらこども園	0 (0.0)	47 (1.8)	0 (0.0)
日向幼稚園	0 (0.0)	43 (1.7)	0 (0.0)
むつみのおか幼稚園	0 (0.0)	42 (1.6)	0 (0.0)
私立保育園	0 (0.0)	31 (1.2)	0 (0.0)
n計	316 (100.0)	2,565 (100.0)	2,132 (100.0)
無回答	8	0	0
計	324	2,565	2,132

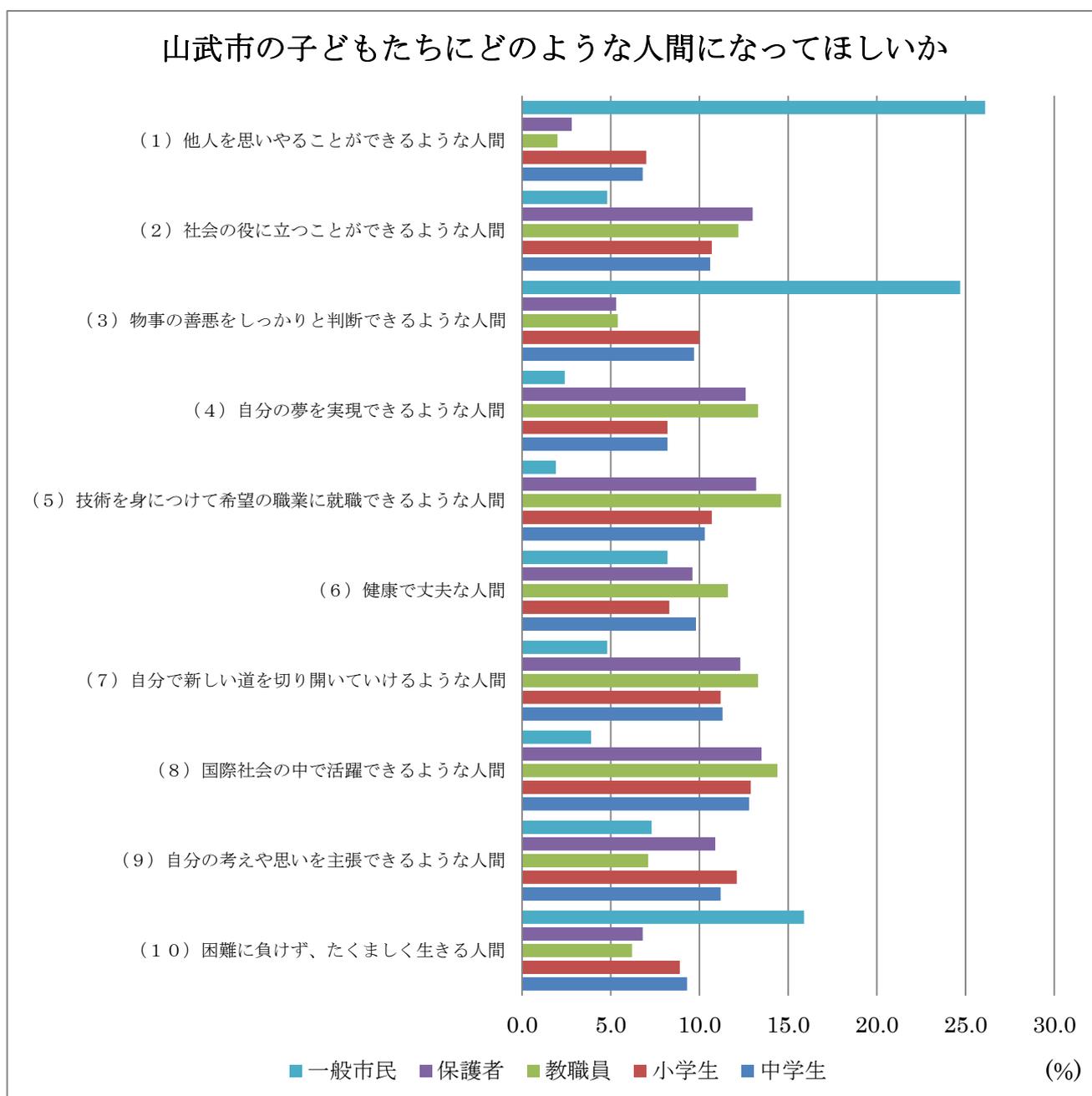
※一般市民については、小学校区で回答しています。

⑤ 将来、山武市の子どもたちにどのような人間になってほしいと思いますか。重要と思われるものを3つ以内で選んでください。 【全対象区分】（一：問5、保：問5、教：問5、児・生：問3）

全対象者・全項目のうちの割合で最も多かったのは、「国際社会の中で活躍できる」13.1%で、対象者のうち保護者と児童生徒が最も多く選択した項目である。次いで「技術を身に付け希望の職につく」11.9%、「社会の役に立つことができる」、「自分で新しい道を切り開く」が11.8%で同率となっている。

一方で、一般市民で最も多かった項目は、「他人を思いやることができる」26.1%で、次いで「物事の善悪を判断できる」24.7%となっている。

これは、保護者が子どもへ広い視野に立ち、自ら進んでいってほしいという思いと児童生徒の将来の希望が合致したものであり、一般市民からは、最近のいじめ等の様々な問題から、子どもたちの健全育成を願う思いが表れている回答となった。



【子どもたちにどのような人間になってほしいか】

上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分	一般市民	保護者	教職員	小学生	中学生	全体の割合
(1)他人を思いやることができるような人間	239	490	53	379	606	1,767
	(26.1)	(2.8)	(2.0)	(7.0)	(6.8)	(4.9)
(2)社会の役に立つことができるような人間	44	2,304	322	584	949	4,203
	(4.8)	(13.0)	(12.2)	(10.7)	(10.6)	(11.8)
(3)物事の善悪をしっかりと判断できるような人間	226	949	142	547	869	2,733
	(24.7)	(5.3)	(5.4)	(10.0)	(9.7)	(7.6)
(4)自分の夢を実現できるような人間	22	2,249	352	444	737	3,804
	(2.4)	(12.6)	(13.3)	(8.2)	(8.2)	(10.6)
(5)技術を身につけて希望の職業に就職できるような人間	17	2,342	388	585	922	4,254
	(1.9)	(13.2)	(14.6)	(10.7)	(10.3)	(11.9)
(6)健康で丈夫な人間	75	1,703	306	453	879	3,416
	(8.2)	(9.6)	(11.6)	(8.3)	(9.8)	(9.6)
(7)自分で新しい道を切り開いていけるような人間	44	2,190	350	607	1,018	4,209
	(4.8)	(12.3)	(13.2)	(11.2)	(11.3)	(11.8)
(8)国際社会の中で活躍できるような人間	36	2,397	382	701	1,152	4,668
	(3.9)	(13.5)	(14.4)	(12.9)	(12.8)	(13.1)
(9)自分の考えや思いを主張できるような人間	67	1,941	189	657	1,007	3,861
	(7.3)	(10.9)	(7.1)	(12.1)	(11.2)	(10.8)
(10)困難に負けず、たくましく生きる人間	146	1,208	164	484	831	2,833
	(15.9)	(6.8)	(6.2)	(8.9)	(9.3)	(7.9)
n計	916	17,773	2,648	5,441	8,970	35,748
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
無回答	6	43	4	9	30	92

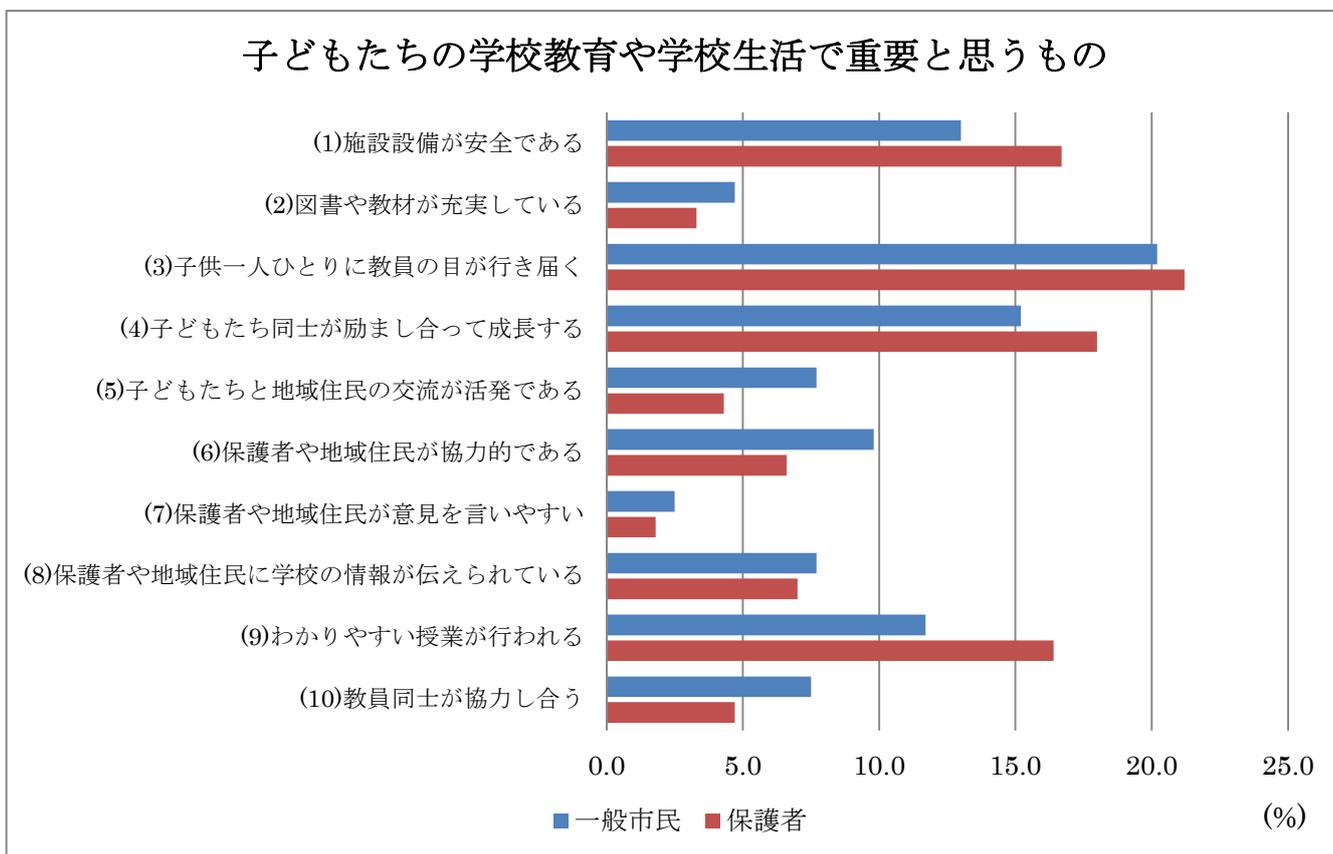
⑥ 子どもたちの学校教育や学校生活で重要と思うものを3つ以内で選択してください。

【一般市民・保護者】（一：問6、保：問6）

子どもたちの学校教育や学校生活で重要と思うものについて質問したところ、一般市民及び保護者の上位3項目については同じ集計結果となった。最も多く選択された項目は、「子ども一人ひとりに教員の目が行き届く」21.1%、次いで「子どもたち同士が励まし合って成長する」17.7%、「施設設備が安全である」16.3%となっている。

回答が最も多かった「子ども一人ひとりに教員の目が行き届く」を選んだ理由としては、学習面、生活面において、きめ細やかな指導が得られるといったメリットがあること。

また、次いで多かった「子どもたち同士が励まし合って成長する」といったことに関しては、少人数では難しい面で、集団生活の中で多様な考え方に触れ、切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすいといったメリットがあるということが選択した理由の一つと思われる。



【子どもたちの学校教育・生活で重要と思うもの】 上段:回答者数 下段:割合(%)

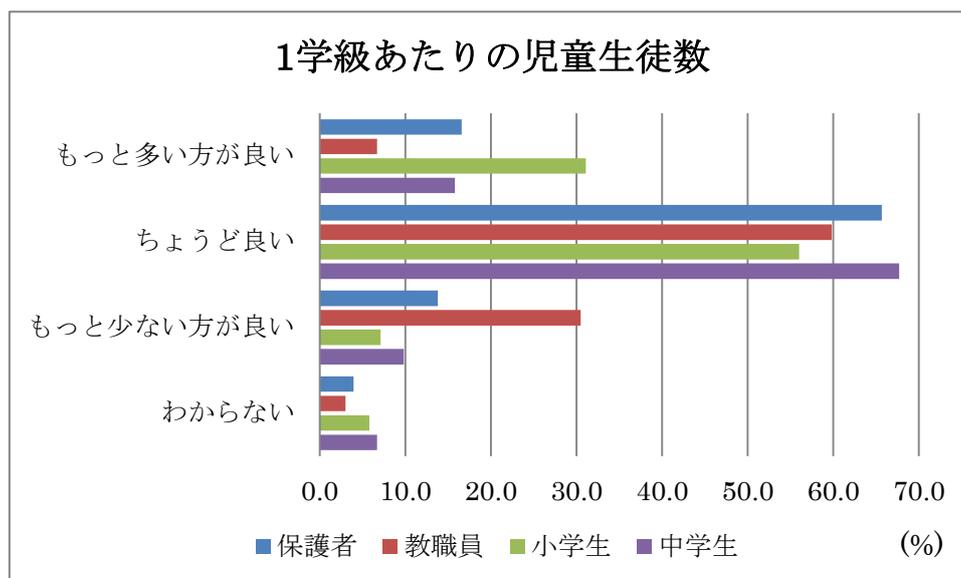
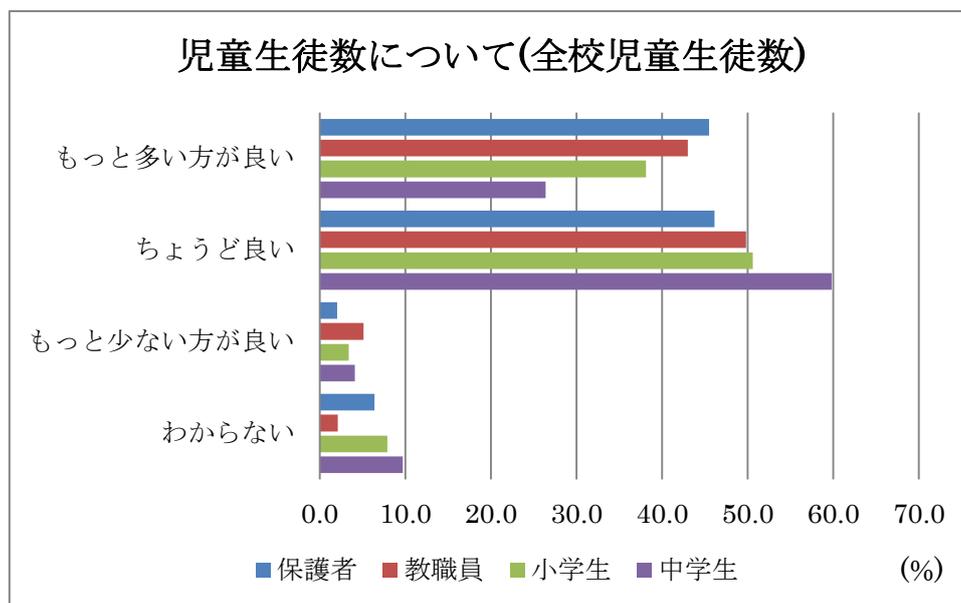
対象区分	一般市民	保護者	全体の割合
(1)施設設備が安全である	115	1,219	1,334
	(13.0)	(16.7)	(16.3)
(2)図書や教材が充実している	42	240	282
	(4.7)	(3.3)	(3.4)
(3)子供一人ひとりに教員の目が行き届く	179	1,551	1,730
	(20.2)	(21.2)	(21.1)
(4)子どもたち同士が励まし合って成長する	135	1,313	1,448
	(15.2)	(18.0)	(17.7)
(5)子どもたちと地域住民の交流が活発である	68	313	381
	(7.7)	(4.3)	(4.6)
(6)保護者や地域住民が協力的である	87	483	570
	(9.8)	(6.6)	(7.0)
(7)保護者や地域住民が意見を言いやすい	22	133	155
	(2.5)	(1.8)	(1.9)
(8)保護者や地域住民に学校の情報が伝えられている	68	512	580
	(7.7)	(7.0)	(7.1)
(9)わかりやすい授業が行われる	104	1,196	1,300
	(11.7)	(16.4)	(15.9)
(10)教員同士が協力し合う	66	343	409
	(7.5)	(4.7)	(5.0)
n計	886	7,303	8,189
	(100.0)	(100.0)	(100.0)
無回答	10	55	65

⑦ 現在、あなたのお子さんが通っている学校の児童数、生徒数について、どのように感じますか。

【保護者・教職員・児童生徒】（保：問7、教：問6、児・生：問4）

全校児童生徒数については、今の状況で「ちょうど良い」と回答した割合が約5割を占め、次いで「もっと多い方が良い」と回答した割合が約4割を占めている。対象区分別の一般市民、保護者、小・中学生で見ても同じ傾向である。

1学級あたりの児童生徒数についても、「ちょうど良い」と回答した割合が約6割を占め、次いで「もっと多い方が良い」と回答した割合が約2割を占めている。対象区分別の教職員については、少人数指導の観点から「もっと少ない方が良い」との回答が多く見られる集計結果となった。



【児童生徒数について】

上段: 回答者数 下段: 割合(%)

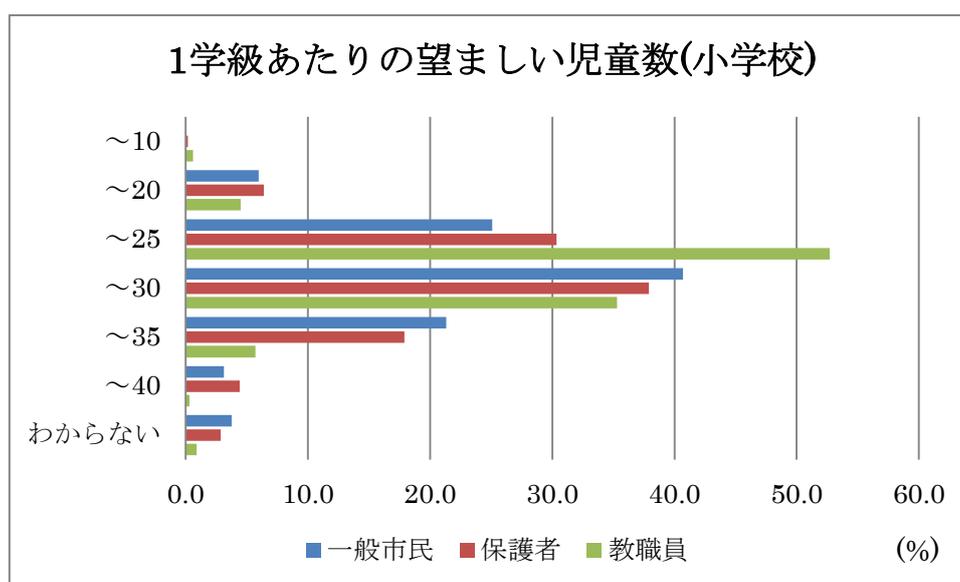
対象区分		もっと多い方が 良い	ちょうど良い	もっと少ない 方が良い	わからない	n計	無回答
(1)全校児童 生徒数	保護者	1,168 (45.5)	1,184 (46.1)	52 (2.0)	163 (6.4)	2,567 (100.0)	53
	教職員	144 (43.0)	167 (49.8)	17 (5.1)	7 (2.1)	335 (100.0)	79
	小学生	298 (38.1)	396 (50.6)	27 (3.4)	62 (7.9)	783 (100.0)	7
	中学生	344 (26.4)	781 (59.8)	53 (4.1)	127 (9.7)	1,305 (100.0)	37
全体の割合		1,954 (39.1)	2,528 (50.7)	149 (3.0)	359 (7.2)	4,990 (100.0)	176
(2)1学級 あたりの 児童生徒数	保護者	421 (16.6)	1,667 (65.7)	350 (13.8)	100 (3.9)	2,538 (100.0)	82
	教職員	22 (6.7)	196 (59.8)	100 (30.5)	10 (3.0)	328 (100.0)	82
	小学生	242 (31.1)	435 (56.0)	55 (7.1)	45 (5.8)	777 (100.0)	13
	中学生	204 (15.8)	876 (67.7)	127 (9.8)	87 (6.7)	1,294 (100.0)	48
全体の割合		889 (18.0)	3,174 (64.3)	632 (12.8)	242 (4.9)	4,937 (100.0)	225

⑧ あなたが考える小・中学校の1学級あたりの児童生徒数は何人程度が望ましいと思いますか。

【一般市民・保護者・教職員】（一：問7、保：問8、教：問7）

小学校における1学級あたりの望ましい児童数は、「26～30人」37.9%、「21～25人」32.2%、「31～35人」16.9%となっており、21～35人で全体の約9割を占めている。

また、回答の最も多かった「26～30人」を選択した理由としては、「教員が一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が受けられる」が最も多く、次いで「児童生徒の人間関係が深まりやすい」となっている。次に多かった「21～25人」を選択した理由についても同様であった。



対象区分		上段: 回答者数							下段: 割合(%)	
		～10	～20	～25	～30	～35	～40	わからない	n計	無回答
小学校	一般市民	0	19	80	130	68	10	12	319	5
		(0.0)	(6.0)	(25.1)	(40.7)	(21.3)	(3.1)	(3.8)	(100.0)	
	保護者	4	158	743	928	438	108	70	2,449	
	(0.2)	(6.4)	(30.3)	(37.9)	(17.9)	(4.4)	(2.9)	(100.0)		
	教職員	2	15	176	118	19	1	3	334	76
		(0.6)	(4.5)	(52.7)	(35.3)	(5.7)	(0.3)	(0.9)	(100.0)	
全体の割合		6	192	999	1,176	525	119	85	3,102	252
		(0.2)	(6.2)	(32.2)	(37.9)	(16.9)	(3.8)	(2.8)	(100.0)	

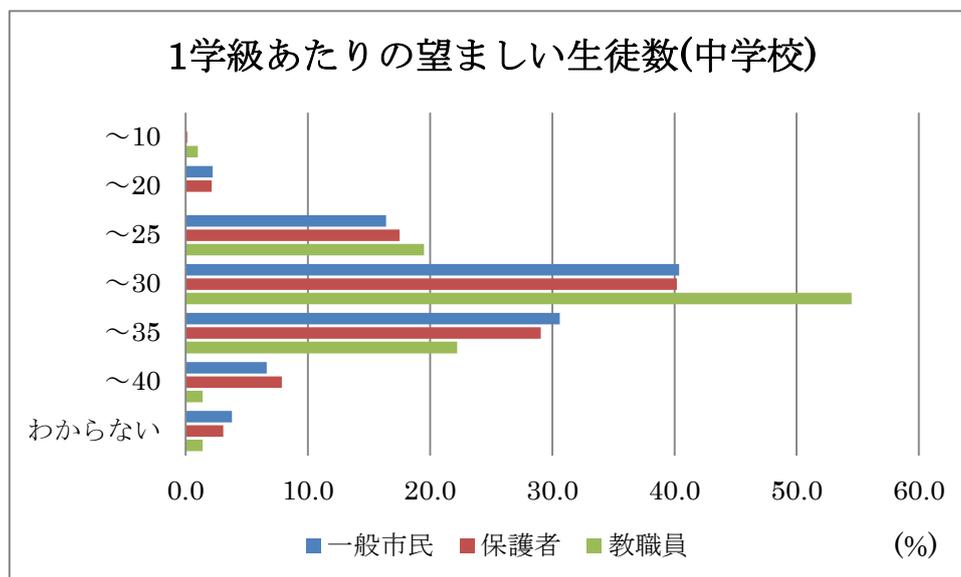
【1学級あたりの望ましい児童数】

上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分		~10	~20	~25	~30	~35	~40	わからない	n計	無回答	
小学校	(1)教員が一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が受けられる	一般市民	0 (0.0)	17 (7.5)	68 (30.1)	101 (44.7)	36 (15.9)	0 (0.0)	4 (1.8)	226 (100.0)	0
		保護者	4 (0.2)	152 (8.7)	676 (38.4)	687 (39.0)	217 (12.3)	9 (0.5)	15 (0.9)	1,760 (100.0)	90
		教職員	2 (0.7)	15 (5.2)	166 (57.2)	95 (32.8)	10 (3.4)	0 (0.0)	2 (0.7)	290 (100.0)	37
	(2)学校生活で主体的に活動機会が増える	一般市民	0 (0.0)	4 (9.8)	9 (21.9)	18 (43.9)	5 (12.2)	3 (7.3)	2 (4.9)	41 (100.0)	1
		保護者	2 (0.5)	41 (9.8)	150 (36.0)	144 (34.5)	65 (15.6)	13 (3.1)	2 (0.5)	417 (100.0)	16
		教職員	1 (0.9)	7 (5.8)	72 (61.0)	36 (30.5)	1 (0.9)	0 (0.0)	1 (0.9)	118 (100.0)	20
	(3)児童生徒の人間関係が深まりやすい	一般市民	0 (0.0)	8 (7.7)	25 (24.0)	45 (43.3)	21 (20.2)	2 (1.9)	3 (2.9)	104 (100.0)	0
		保護者	2 (0.2)	54 (6.3)	265 (31.0)	324 (37.9)	161 (18.8)	38 (4.5)	11 (1.3)	855 (100.0)	43
		教職員	0 (0.0)	8 (7.2)	56 (50.5)	34 (30.6)	12 (10.8)	1 (0.9)	0 (0.0)	111 (100.0)	15
	(4)友達の考えに触れる機会や学び合いの機会が得やすい	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (14.6)	36 (40.4)	28 (31.5)	8 (9.0)	4 (4.5)	89 (100.0)	1
		保護者	1 (0.1)	30 (3.8)	151 (19.2)	288 (36.5)	222 (28.1)	81 (10.3)	16 (2.0)	789 (100.0)	42
		教職員	0 (0.0)	2 (2.3)	34 (39.5)	43 (50.0)	6 (7.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	86 (100.0)	14
	(5)学校行事等で活気ある集団的教育活動が経験できる	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (14.7)	30 (44.1)	21 (30.9)	4 (5.9)	3 (4.4)	68 (100.0)	1
		保護者	1 (0.2)	23 (3.7)	121 (19.6)	237 (38.3)	172 (27.8)	51 (8.3)	13 (2.1)	618 (100.0)	37
		教職員	0 (0.0)	1 (1.2)	39 (45.9)	35 (41.1)	9 (10.6)	1 (1.2)	0 (0.0)	85 (100.0)	14

一方、中学校における1学級あたりの望ましい生徒数は、小学校と同様で「26～30人」41.6%が最も多く、次いで「31～35人」28.6%、「21～25人」17.6%と続いており、中学校においても21～35人が全体の約9割を占める結果となった。

また、理由についても小学校と同じ結果となっている。



対象区分		上段:回答者数 下段:割合(%)							n計	無回答
		～10	～20	～25	～30	～35	～40	わからない		
中学校	一般市民	0 (0.0)	7 (2.2)	52 (16.4)	128 (40.4)	97 (30.6)	21 (6.6)	12 (3.8)	317 (100.0)	7
	保護者	3 (0.1)	52 (2.1)	429 (17.5)	982 (40.2)	710 (29.1)	192 (7.9)	75 (3.1)	2,443 (100.0)	176
	教職員	3 (1.0)	0 (0.0)	58 (19.5)	162 (54.5)	66 (22.2)	4 (1.4)	4 (1.4)	297 (100.0)	113
全体の割合		6 (0.2)	59 (1.9)	539 (17.6)	1,272 (41.6)	873 (28.6)	217 (7.1)	91 (3.0)	3,057 (100.0)	296

【1学級あたりの望ましい生徒数】

上段: 回答者数 下段: 割合

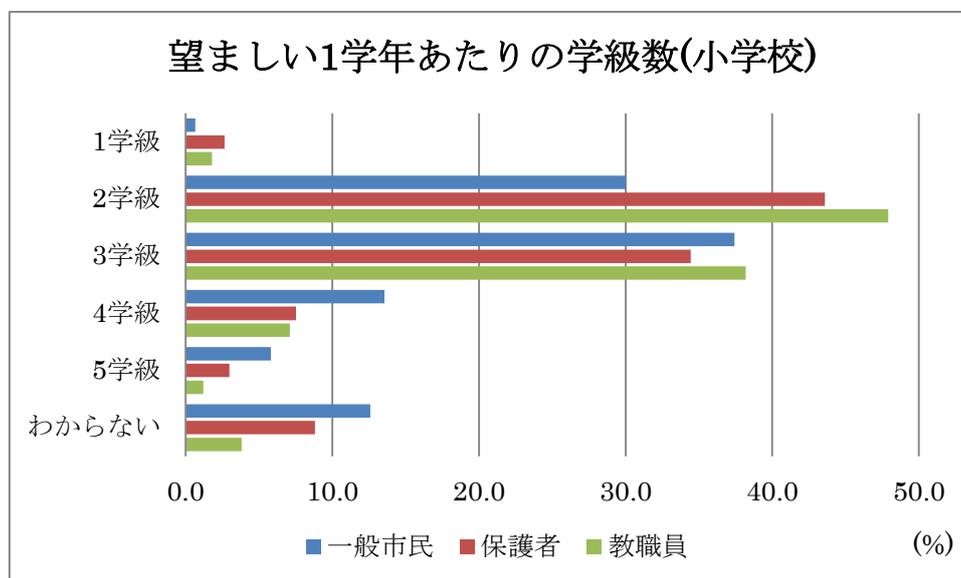
対象区分			～10	～20	～25	～30	～35	～40	わからない	n計	無回答
中学校	(1)教員が一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導が受けられる	一般市民	0 (0.0)	7 (3.1)	45 (20.1)	94 (42.0)	68 (30.3)	6 (2.7)	4 (1.8)	224 (100.0)	0
		保護者	2 (0.1)	51 (2.9)	403 (23.0)	793 (45.3)	433 (24.8)	44 (2.5)	24 (1.4)	1,750 (100.0)	100
		教職員	2 (0.8)	0 (0.0)	55 (22.1)	143 (57.4)	45 (18.1)	1 (0.4)	3 (1.2)	249 (100.0)	78
	(2)学校生活で主体的に活動機会が増える	一般市民	0 (0.0)	1 (2.4)	5 (12.2)	22 (53.7)	8 (19.5)	3 (7.3)	2 (4.9)	41 (100.0)	1
		保護者	1 (0.2)	15 (3.6)	94 (22.6)	180 (43.3)	98 (23.5)	24 (5.8)	4 (1.0)	416 (100.0)	17
		教職員	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (23.5)	68 (66.7)	10 (9.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	102 (100.0)	36
	(3)児童生徒の人間関係が深まりやすい	一般市民	0 (0.0)	5 (4.8)	10 (9.6)	52 (50.0)	30 (28.9)	4 (3.8)	3 (2.9)	104 (100.0)	0
		保護者	1 (0.1)	26 (3.1)	140 (16.4)	359 (42.0)	248 (29.0)	67 (7.9)	13 (1.5)	854 (100.0)	44
		教職員	1 (1.0)	0 (0.0)	20 (20.2)	47 (47.5)	29 (29.3)	1 (1.0)	1 (1.0)	99 (100.0)	27
	(4)友達の考えに触れる機会や学び合いの機会が得やすい	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (5.4)	39 (42.4)	29 (31.5)	15 (16.3)	4 (4.4)	92 (100.0)	1
		保護者	0 (0.0)	6 (0.8)	74 (9.3)	255 (32.0)	310 (38.9)	137 (17.2)	14 (1.8)	796 (100.0)	35
		教職員	1 (1.2)	0 (0.0)	13 (16.3)	38 (47.5)	27 (33.8)	1 (1.2)	0 (0.0)	80 (100.0)	20
	(5)学校行事等で活気ある集団的教育活動が経験できる	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (8.8)	26 (38.2)	25 (36.8)	8 (11.8)	3 (4.4)	68 (100.0)	1
		保護者	0 (0.0)	8 (1.3)	54 (8.6)	216 (34.4)	246 (39.2)	92 (14.7)	11 (1.8)	627 (100.0)	27
		教職員	1 (1.3)	0 (0.0)	10 (12.8)	41 (52.6)	24 (30.8)	2 (2.5)	0 (0.0)	78 (100.0)	21

⑨ あなたが考える小・中学校の1学年あたりの学級数は何学級程度が望ましいと思いますか。また、選んだ理由はどんなことからですか。小学校、中学校それぞれについて、当てはまるものに○をつけてください。
【一般市民・保護者・教職員】（一：問9、保：問10、教：問9）

小学校における望ましい1学年あたりの望ましい学級数は、「2学級」42.7%、次いで「3学級」35.1%となっており、全体の約8割を占めている。

対象区分別で見ると保護者、小学校教職員が「2学級」、「3学級」の順で、一般市民は「3学級」、「2学級」の順で回答されている。いずれにしても、国の法令による標準学級数（小学校1学年あたり2学級から3学級）と同じ考えが多いことがいえる。

また、回答の最も多かった「2学級」を選択した理由としては、「クラス替えて人間関係に変化を持たせ、友人がたくさんできる」が最も多く、次いで「多様な考え方に触れ、社会性・協調性を身に付ける」となっている。なお、「3学級」を選択した理由についても「2学級」と同様であった。



上段: 回答者数 下段: 割合(%)

対象区分		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	わからない	n計	無回答
小学校	一般市民	2 (0.6)	93 (30.0)	116 (37.4)	42 (13.6)	18 (5.8)	39 (12.6)	310 (100.0)	14
	保護者	65 (2.7)	1,067 (43.6)	843 (34.4)	184 (7.5)	73 (3.0)	216 (8.8)	2,448 (100.0)	172
	教職員	6 (1.8)	162 (47.9)	129 (38.2)	24 (7.1)	4 (1.2)	13 (3.8)	338 (100.0)	72
全体の割合		73 (2.4)	1,322 (42.7)	1,088 (35.1)	250 (8.1)	95 (3.1)	268 (8.6)	3,096 (100.0)	258

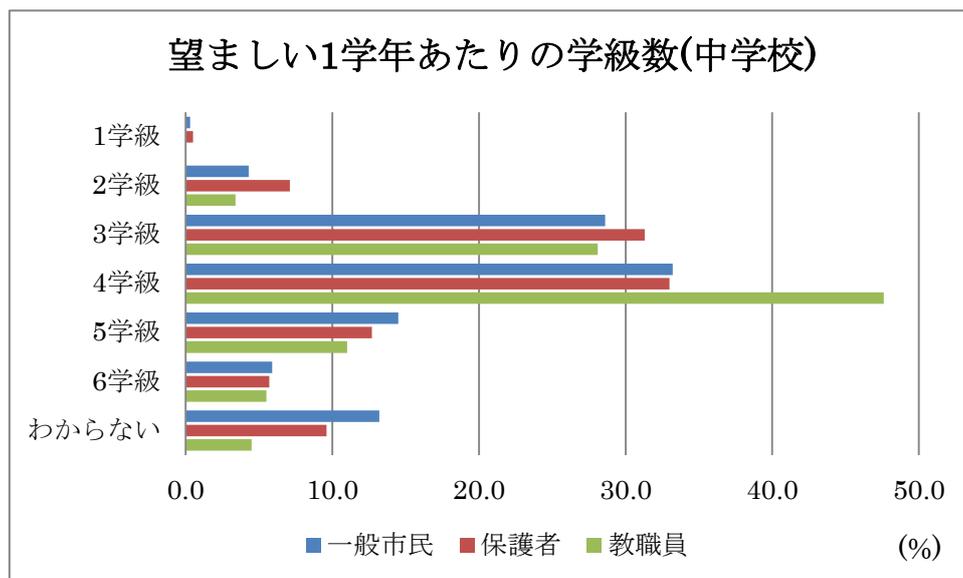
【1学年あたりの望ましい学級数】

上段: 回答者数 下段: 割合(%)

対象区分		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	わからない	n計	無回答	
小学校	(1)同じ児童と過ごすことができ、人間関係が安定する	一般市民	2 (12.5)	0 (0.0)	7 (43.8)	4 (25.0)	3 (18.7)	0 (0.0)	16 (100.0)	0
		保護者	53 (24.1)	110 (50.0)	37 (16.8)	5 (2.3)	5 (2.3)	10 (4.5)	220 (100.0)	1
		教職員	6 (27.3)	7 (31.8)	6 (27.3)	2 (9.1)	0 (0.0)	1 (4.5)	22 (100.0)	1
		一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	88 (65.2)	28 (20.7)	11 (8.2)	8 (5.9)	135 (100.0)	2
		保護者	2 (0.1)	846 (47.4)	684 (38.3)	147 (8.3)	59 (3.3)	47 (2.6)	1,785 (100.0)	9
		教職員	2 (0.7)	137 (49.4)	111 (40.1)	19 (6.9)	3 (1.1)	5 (1.8)	277 (100.0)	3
	(3)学校行事で出場や発表の機会に恵まれる	一般市民	1 (4.5)	0 (0.0)	12 (54.6)	6 (27.3)	2 (9.1)	1 (4.5)	22 (100.0)	1
		保護者	19 (5.4)	178 (50.3)	110 (31.1)	26 (7.3)	12 (3.4)	9 (2.5)	354 (100.0)	4
		教職員	4 (5.3)	42 (55.2)	26 (34.2)	4 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	76 (100.0)	0
		一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	61 (61.6)	24 (24.3)	10 (10.1)	4 (4.0)	99 (100.0)	2
		保護者	7 (0.6)	425 (38.3)	508 (45.7)	100 (9.0)	46 (4.1)	25 (2.3)	1,111 (100.0)	7
		教職員	0 (0.0)	83 (46.6)	80 (45.0)	12 (6.7)	2 (1.1)	1 (0.6)	178 (100.0)	4
	(5)学校行事等で活気ある集団的教育活動が経験できる	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (66.7)	7 (19.4)	4 (11.1)	1 (2.8)	36 (100.0)	1
		保護者	8 (1.3)	245 (38.1)	276 (42.9)	66 (10.3)	35 (5.4)	13 (2.0)	643 (100.0)	6
		教職員	1 (0.8)	55 (43.0)	58 (45.3)	11 (8.6)	2 (1.5)	1 (0.8)	128 (100.0)	2
		無回答	全対象	2	9	8	3	2	186	210

一方、中学校における望ましい1学年あたりの望ましい学級数は、「4学級」34.5%、次いで「3学級」30.7%。対象区分別で見ても、一般市民、保護者、教職員のすべてが「4学級」、「3学級」の順で回答されており、国の法令による標準学級数（中学校1校あたり4学級から6学級）とは別の考えが多いことがいえる。現在、市内の学校で5学級、6学級ある学校がないことから、5、6学級ある学校の良さについて判断できないことが想定される。

また、回答の最も多かった「4学級」を選択した理由としては、「クラス替えで人間関係に変化を持たせ、友人がたくさんできる」が最も多く、次いで「多様な考え方に触れ、社会性・協調性を身に付ける」となっている。なお、「3学級」を選択した理由についても「4学級」と同様であった。



上段: 回答者数 下段: 割合(%)

対象区分		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	わからない	n計	無回答
中学校	一般市民	1 (0.3)	13 (4.3)	87 (28.6)	101 (33.2)	44 (14.5)	18 (5.9)	40 (13.2)	304 (100.0)	20
	保護者	13 (0.5)	169 (7.1)	748 (31.3)	788 (33.0)	304 (12.7)	137 (5.7)	230 (9.6)	2,389 (100.0)	231
	教職員	0 (0.0)	10 (3.4)	82 (28.1)	139 (47.6)	32 (11.0)	16 (5.5)	13 (4.5)	292 (100.0)	118
全体の割合		14 0.5	192 6.4	917 30.7	1,028 34.5	380 12.7	171 5.7	283 9.5	2,985 100.0	369

【1学年あたりの望ましい学級数】

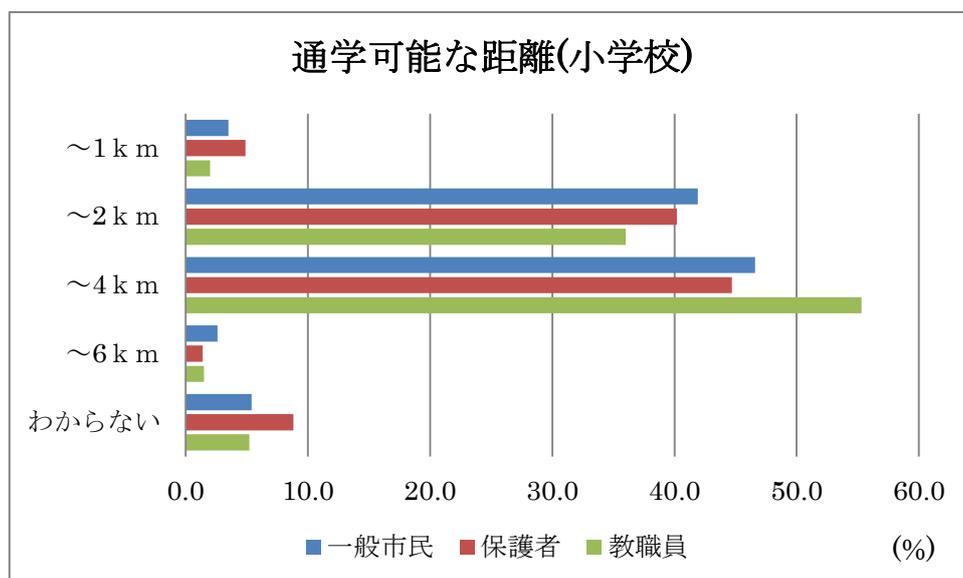
上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分		1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	わからない	n計	無回答	
中学校	(1)同じ児童と過ごすことができ、人間関係が安定する	一般市民	1 (7.1)	0 (0.0)	3 (21.5)	5 (35.7)	3 (21.5)	1 (7.1)	1 (7.1)	14 (100.0)	0
		保護者	8 (6.9)	32 (27.6)	44 (37.9)	16 (13.8)	5 (4.3)	2 (1.7)	9 (7.8)	116 (100.0)	1
		教職員	0 (0.0)	1 (12.5)	5 (62.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (100.0)	2
	(2)クラス替えで人間関係に変化を持たせ、友人がたくさんできる	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	65 (35.7)	69 (37.9)	28 (15.4)	12 (6.6)	8 (4.4)	182 (100.0)	3
		保護者	3 (0.2)	117 (7.0)	569 (34.1)	599 (35.9)	236 (14.2)	100 (6.0)	43 (2.6)	1,667 (100.0)	22
		教職員	0 (0.0)	5 (2.3)	63 (29.2)	112 (51.8)	24 (11.1)	12 (5.6)	0 (0.0)	216 (100.0)	5
	(3)学校行事で出場や発表の機会に恵まれる	一般市民	1 (2.8)	0 (0.0)	12 (33.3)	16 (44.4)	4 (11.1)	2 (5.6)	1 (2.8)	36 (100.0)	1
		保護者	2 (0.6)	36 (10.2)	126 (35.6)	113 (31.9)	44 (12.4)	19 (5.4)	14 (3.9)	354 (100.0)	5
		教職員	0 (0.0)	3 (4.2)	24 (33.3)	35 (48.6)	7 (9.7)	3 (4.2)	0 (0.0)	72 (100.0)	1
	(4)多様な考えに触れ、社会性・協調性を身につける	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	41 (29.5)	57 (41.0)	25 (18.0)	12 (8.6)	4 (2.9)	139 (100.0)	5
		保護者	3 (0.2)	54 (4.5)	408 (33.9)	457 (38.0)	172 (14.3)	88 (7.3)	22 (1.8)	1,204 (100.0)	7
		教職員	0 (0.0)	8 (4.6)	53 (30.7)	77 (44.5)	26 (15.0)	9 (5.2)	0 (0.0)	173 (100.0)	6
	(5)学校行事等で活気ある集団的教育活動が経験できる	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (32.1)	33 (42.3)	15 (19.2)	4 (5.1)	1 (1.3)	78 (100.0)	1
		保護者	1 (0.1)	25 (3.2)	230 (28.9)	318 (40.0)	147 (18.5)	61 (7.7)	13 (1.6)	795 (100.0)	11
		教職員	0 (0.0)	1 (0.9)	22 (20.4)	58 (53.7)	18 (16.7)	9 (8.3)	0 (0.0)	108 (100.0)	2
	(6)学校行事や部活などが活性化し、活気ある学校づくりができる	一般市民	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (25.9)	39 (43.8)	18 (20.2)	5 (5.6)	4 (4.5)	89 (100.0)	1
		保護者	1 (0.1)	42 (4.3)	268 (27.5)	385 (39.6)	174 (17.9)	80 (8.2)	23 (2.4)	973 (100.0)	6
		教職員	0 (0.0)	3 (1.8)	36 (22.0)	96 (58.5)	19 (11.6)	10 (6.1)	0 (0.0)	164 (100.0)	3
	無回答	全対象	1	2	9	7	3	0	203	327	

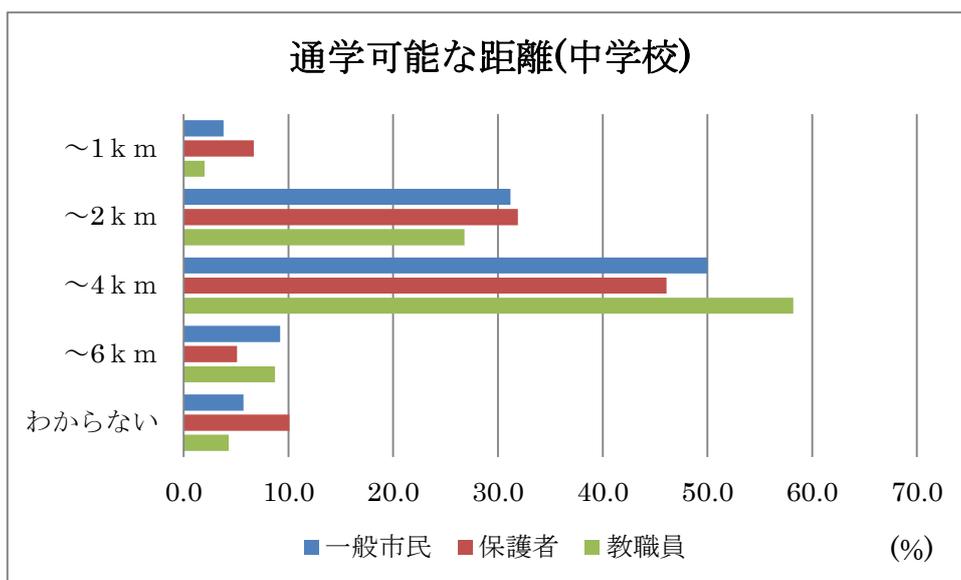
⑩ 通学距離は何 km までが可能だと思いますか。小学校、中学校それぞれについて、もっとも当てはまる番号に○をつけてください。 【一般市民・保護者・教職員】（一：問 10、保：問 11、教：問 10）

小学校については、原則徒歩で通うことを考慮して「4 km以内」46.1%、次いで「2 km以内」39.9%、中学校については、全生徒数の 96.6%が自転車で通っている現状ではあるが、小学校と同様で「4 km以内」47.7%、次いで「2 km以内」31.3%の回答が多く占めていた。いずれにしても国の法令による小中学校の通学距離内であることがいえる。

また、統合等により、通学距離が長くなる場合、スクールバス等で対応してほしいという意見も多くあった。



小学校	上段: 回答者数					下段: 割合(%)	
	～1km	～2km	～4km	～6km	わからない	n計	無回答
一般市民	11 (3.5)	131 (41.9)	146 (46.6)	8 (2.6)	17 (5.4)	313 (100.0)	11
保護者	119 (4.9)	982 (40.2)	1,093 (44.7)	35 (1.4)	214 (8.8)	2,443 (100.0)	177
教職員	7 (2.0)	125 (36.0)	192 (55.3)	5 (1.5)	18 (5.2)	347 (100.0)	63
全体の割合	137 (4.4)	1,238 (39.9)	1,431 (46.1)	48 (1.6)	249 (8.0)	3,103 (100.0)	251



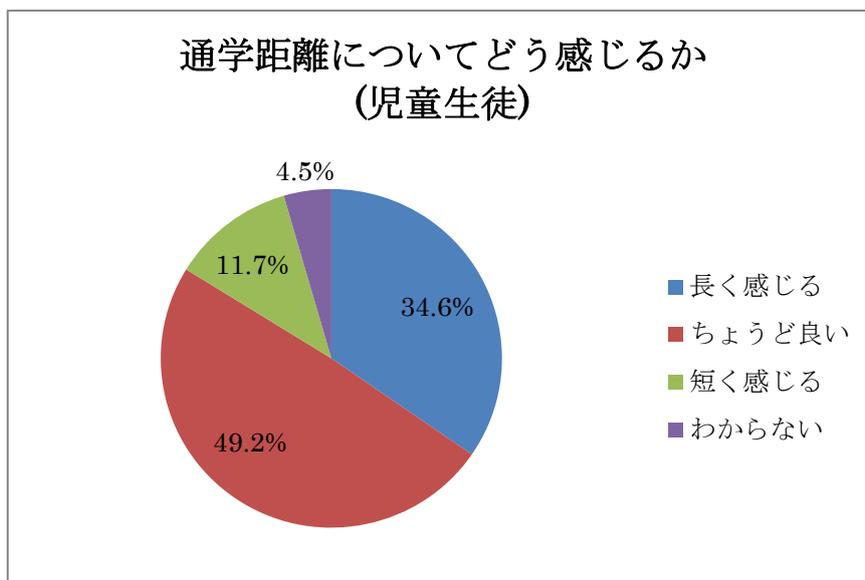
上段: 回答者数 下段: 割合(%)

中学校	～1km	～2km	～4km	～6km	わからない	n計	無回答
一般市民	12 (3.8)	98 (31.2)	157 (50.0)	29 (9.3)	18 (5.7)	314 (100.0)	10
保護者	164 (6.8)	775 (31.9)	1,121 (46.1)	124 (5.1)	246 (10.1)	2,430 (100.0)	190
教職員	6 (2.0)	80 (26.8)	174 (58.2)	26 (8.7)	13 (4.3)	299 (100.0)	111
全体の割合	182 (6.0)	953 (31.3)	1,452 (47.7)	179 (5.9)	277 (9.1)	3,043 (100.0)	311

⑪ あなたが通っている学校までの通学距離について、どのように感じますか。

【児童生徒】(児・生:問5)

児童生徒を感じる現在の通学距離については、「ちょうど良い」49.2%との回答が最も多く、全体の約5割を占めており、次いで「長く感じる」34.6%、「短く感じる」11.7%となっている。



上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分	長く感じる	ちょうど良い	短く感じる	わからない	n計	無回答
小学生	286 (38.4)	314 (42.1)	104 (14.0)	41 (5.5)	745 (100.0)	45
中学生	377 (32.2)	628 (53.6)	121 (10.3)	46 (3.9)	1,172 (100.0)	170
全体の割合	(34.6)	(49.2)	(11.7)	(4.5)	(100.0)	215

⑫ 適正な学校規模(児童生徒数、学級数等)を維持するために、どのような対策がのぞましいか。

【一般市民・保護者・教職員】(一：問 11、保：問 12、教：問 11)

適正な学校規模(児童生徒数、学級数)を維持するための望ましい対策について質問したところ、最も多かった回答は、「通学区域を見直して、統合する」32.8%、次いで「わからない」28.8%、「通学区域を見直して、統合しない」22.5%となっており、「対策の必要はない」の回答は11.9%、「その他」4.0%となっている。統合に関しては約3割程度、通学区域を見直すことに関しては約6割が必要と考えており、統合や通学区域の見直しなど、何らかの検討をすべきだという問題意識を持っていることが窺える。

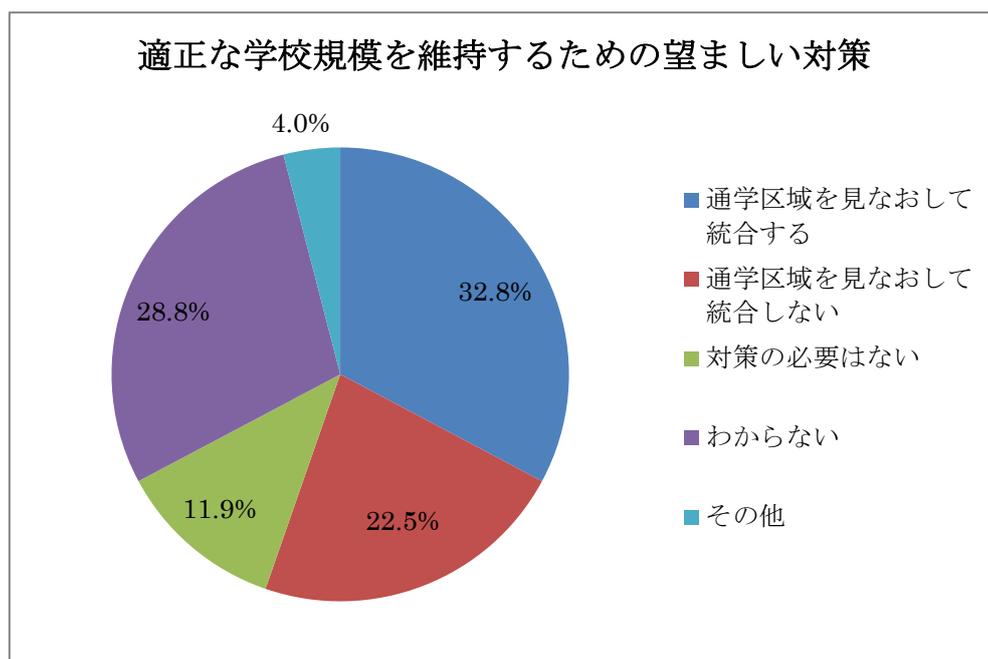
「その他」における意見としては125人からの回答があり、対象区分別に見ると一般市民9人、保護者97人、教職員19人となっている。

回答内容を分類した結果は次のとおりとなった。

No.	分類内容	回答数
1	「通学区域を見直して、統合する」、「通学路を見直して、統合しない」に類似又は混同したもの	16
2	「対策の必要はない」に類似したもの	5
3	「わからない」に類似したもの	6
4	スクールバスの導入に関するもの	41
5	人口増や街づくりなどに関するもの	13
6	教育環境に関するもの	7
7	小中一貫校に関するもの	5
8	学校選択に関するもの	4
9	設問の意図に合致しないもの	28

分類内容の概要

No.	主な内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は通学区域の見直しを行っても良いが、統合はしない ・中学校は通学区域の見直しを行い統合する ・小学校は当面現状のまま。中学校は通学区域を見直し統合 ・通学区域を見直して、必要に応じて統合する ・小学校は統合、中学校は現状のまま ・統合するしないは通学区域を見直した後に検討する 等
2	<ul style="list-style-type: none"> ・統合する必要はない ・現状で仕方ない 等
3	<ul style="list-style-type: none"> ・統合が本当に良いのかはっきり答えが出せない ・理想と現実のギャップがありすぎてわからない ・人数や学級数では全てを決められないので判断できない 等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・統合が望ましいがスクールバスが必要 ・スクールバスを利用して統合する ・スクールバスを運行し統廃合を進めるべき ・学区を広くしてバス通学にする 等
5	<ul style="list-style-type: none"> ・統合するしないよりも、根本的な児童数減の問題を考えるべき ・子どもの数が少ないから統合するのではなく、若い世代が住みたくなる街づくりをし、児童生徒数を増やす ・子育て支援に力を入れ、産みやすい、育てやすい市にならなくてはいけない ・人口がどのようなしたら増えるかを検討する 等
6	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の数を増やす ・統合はしても、分校のような制度を作り、運動会などの行事は合同で行う ・中学校へ進学する際は他の中学校へ行かないように規制する ・1学級あたりの児童生徒数の基準を変更する 等
7	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校への取り組みを行う
8	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自由に行きたい学校へ行けたら良い ・各自自由に行きたい学校を選べたら良い ・各家庭の意見から学校を選べる
9	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な学校規模を維持するための対策とはいえない内容のもの



【適正な学校規模を維持するための望ましい対策】

上段: 回答者数 下段: 割合(%)

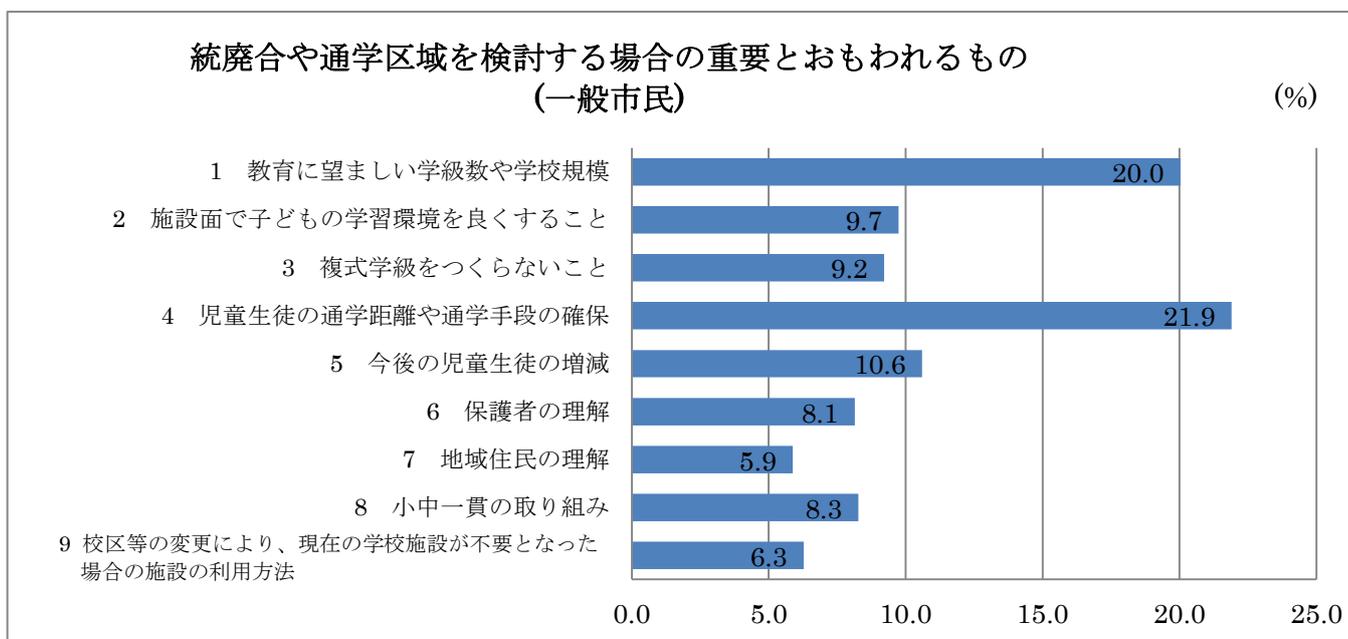
対象区分	通学区域を見なおして統合する	通学区域を見なおして統合しない	対策の必要はない	わからない	その他	n計	無回答
一般市民	121	94	23	58	9	305	19
	(39.7)	(30.8)	(7.5)	(19.0)	(3.0)	(100.0)	
保護者	791	498	331	778	97	2,495	125
	(31.7)	(19.9)	(13.3)	(31.2)	(3.9)	(100.0)	
教職員	131	123	25	79	19	377	33
	(34.8)	(32.6)	(6.6)	(21.0)	(5.0)	(100.0)	
全体の割合	1,043	715	379	915	125	3,177	177
	(32.8)	(22.5)	(11.9)	(28.8)	(4.0)	(100.0)	

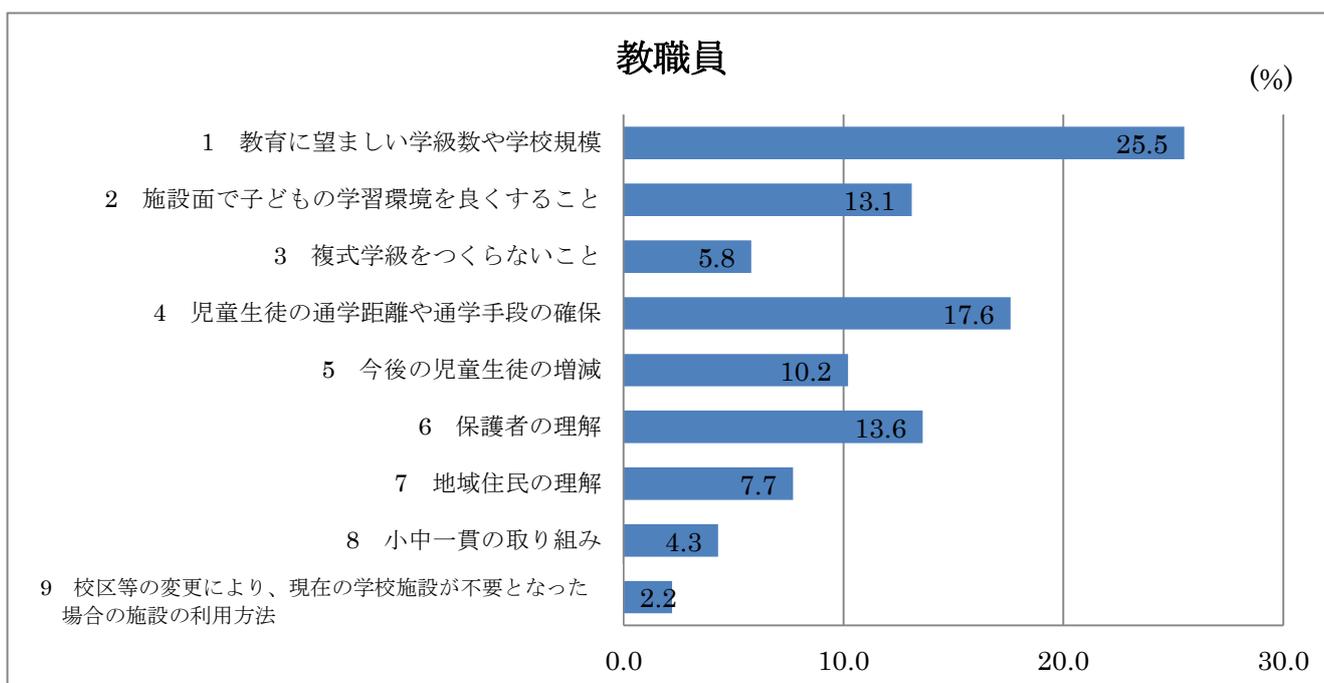
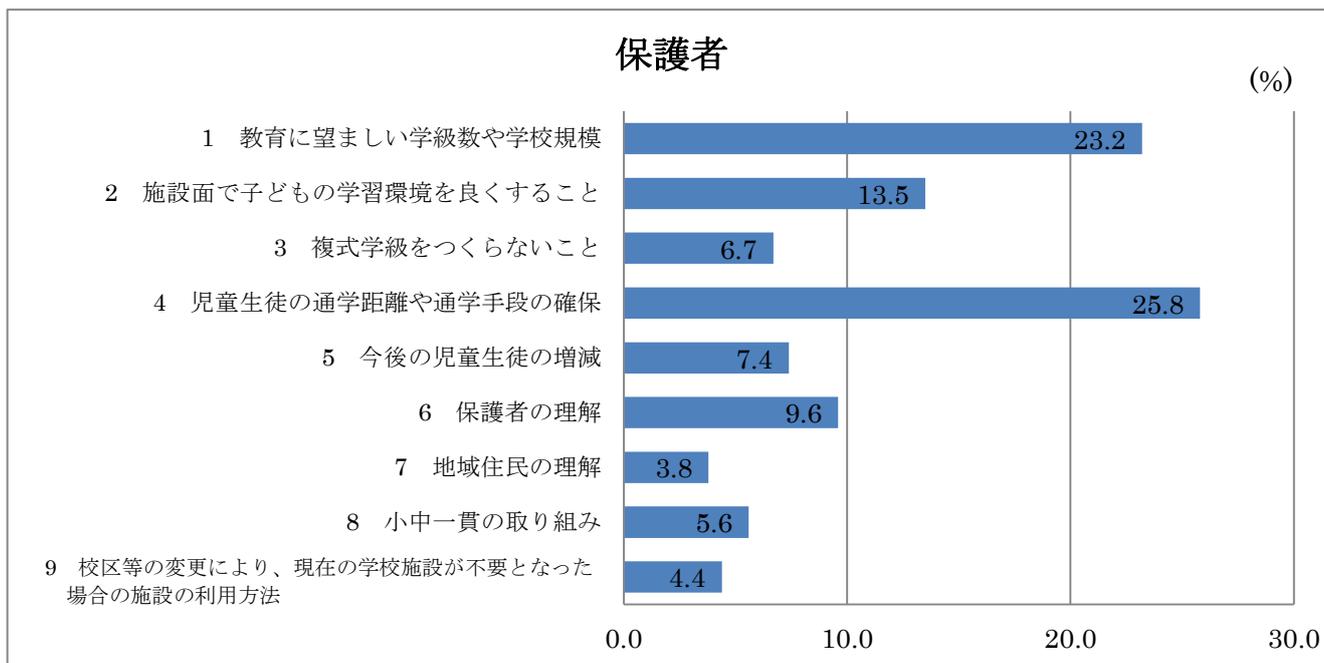
⑬ 学校の統合や通学区域を検討する場合、以下の項目の中から重要と思われるものを 3 つ以内で選んで、回答欄に○をつけてください。

【一般市民・保護者・教職員】（一：問 12、保：問 13、教：問 12）

学校の統合や通学区域を検討する場合に重要と思うものについて質問したところ、対象区分別で最も多く選択された項目は、「児童生徒の通学距離や通学手段の確保」で一般市民が 21.9%、保護者が 25.8%、教職員については、「教育に望ましい学級数や学校規模」 25.5%となっている。

また、対象区分別の上位 3 項目の中で共通していた「児童生徒の通学距離や通学手段の確保」に関しては、自由記述の欄にも数多くの意見が寄せられていたが、登下校時の安全確保のためと、将来統廃合等が行われる場合にはスクールバスが必要であるといった考え方。「教育に望ましい学級数や学校規模」に関しては、多様な人間関係を育み、互いに理解を深め、切磋琢磨し合いながら社会性を養っていくのに適した学校規模。部活動や学校行事など一定の規模の集団による教育活動が成立する学校規模などの考えが、選択した理由の一つと思われる。





【学校の統廃合や通学距離を検討する場合、重要と思われるもの】

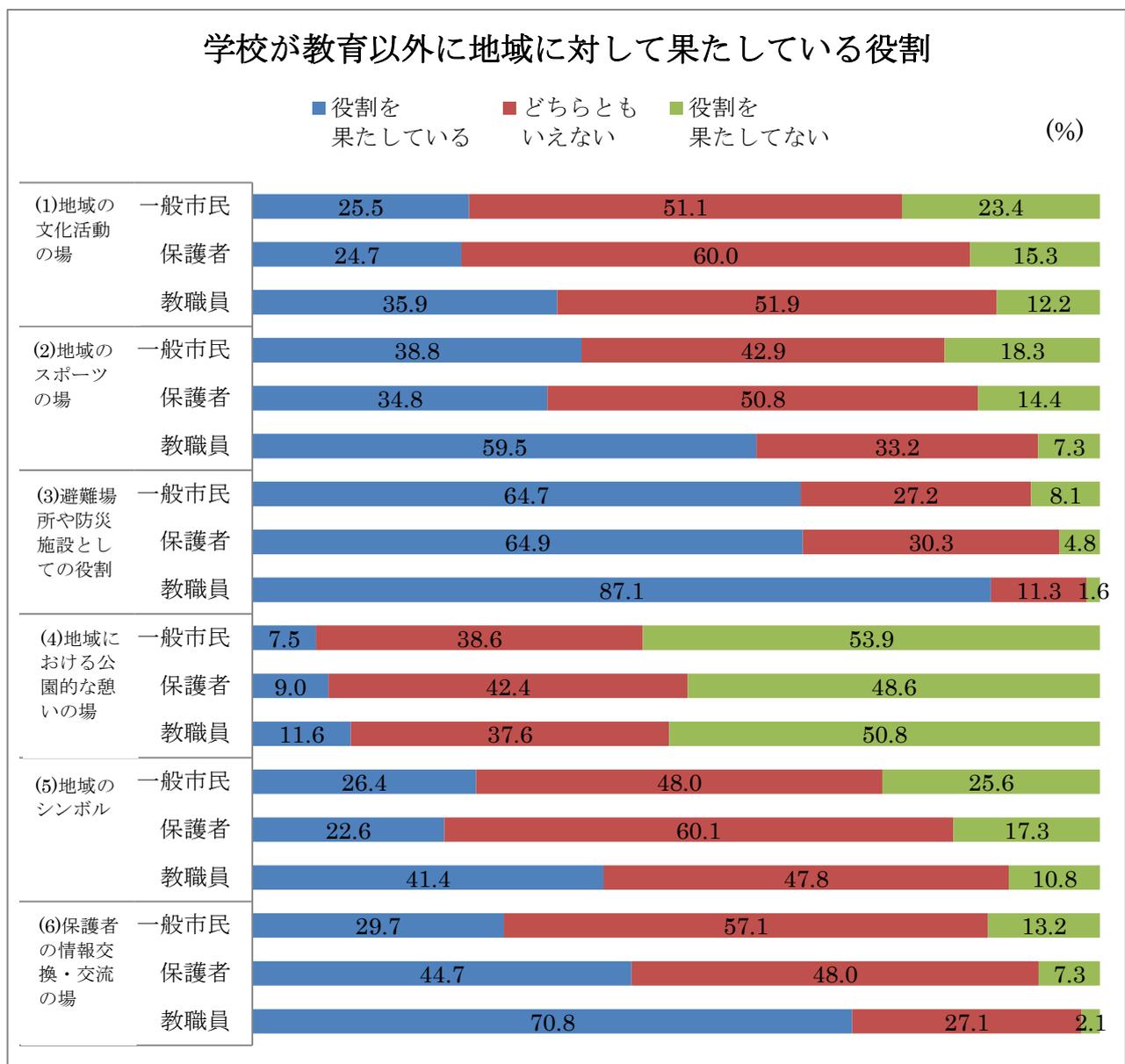
上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分	1 教育に望ましい学級数や学校規模	2 施設面で子どもの学習環境を良くすること	3 複式学級をつくらないこと	4 児童生徒の通学距離や通学手段の確保	5 今後の児童生徒の増減	6 保護者の理解	7 地域住民の理解	8 小中一貫の取り組み	9 校区等の変更により、現在の学校施設が不要となった場合の施設の利用方法	n計
一般市民	150 (20.0)	73 (9.7)	69 (9.2)	164 (21.9)	79 (10.6)	61 (8.1)	44 (5.9)	62 (8.3)	47 (6.3)	749 (100.0)
保護者	1,387 (23.2)	810 (13.5)	404 (6.7)	1,544 (25.8)	445 (7.4)	574 (9.6)	225 (3.8)	338 (5.6)	261 (4.4)	5,988 (100.0)
教職員	269 (25.5)	138 (13.1)	61 (5.8)	186 (17.6)	108 (10.2)	144 (13.6)	81 (7.7)	45 (4.3)	23 (2.2)	1,055 (100.0)

⑭ あなたがお住まいの地域の小・中学校が果たしている役割は、子どもの教育という面以外に地域(校区)に対してどのようなものだと思いますか。それぞれの項目について、当てはまる選択肢の中に○をつけてください。 【一般市民・保護者・教職員】(一：問 13、保：問 14、教：問 13)

地域の小中学校が、子どもの教育という面以外に果たしている役割について項目ごとに分けて質問したところ、「災害場所や防災施設としての役割」が一般市民、保護者、教職員とも「役割を果たしている」の回答で最も多い割合となっている。これは、東日本大震災の影響が考えられ、子どもたちの安全確保並びに地域にとって避難場所としての役割が大きいという意識傾向が見られる。

また、その他 5 項目については、総体的に「どちらともいえない」と回答した割合が多い集計結果となった。



【学校が教育以外に地域に果たす役割】

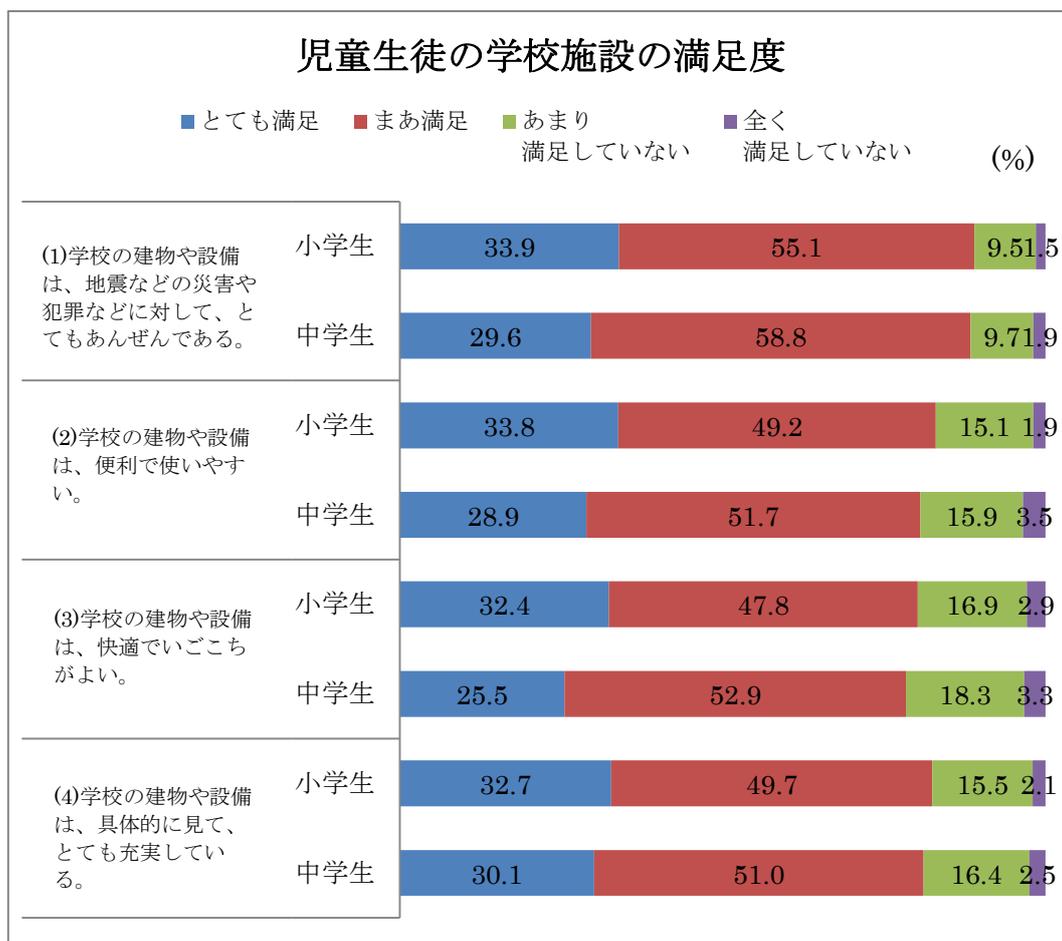
上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分		役割を 果たしている	どちらとも いえない	役割を 果たしてない	n計
(1)地域の文化活動の場	一般市民	70	140	64	274
		(25.5)	(51.1)	(23.4)	(100.0)
	保護者	596	1,452	370	2,418
		(24.7)	(60.0)	(15.3)	(100.0)
	教職員	133	192	45	370
		(35.9)	(51.9)	(12.2)	(100.0)
(2)地域のスポーツの場	一般市民	106	117	50	273
		(38.8)	(42.9)	(18.3)	(100.0)
	保護者	843	1,232	348	2,423
		(34.8)	(50.8)	(14.4)	(100.0)
	教職員	220	123	27	370
		(59.5)	(33.2)	(7.3)	(100.0)
(3)避難場所や防災施設 としての役割	一般市民	183	77	23	283
		(64.7)	(27.2)	(8.1)	(100.0)
	保護者	1,594	744	117	2,455
		(64.9)	(30.3)	(4.8)	(100.0)
	教職員	332	43	6	381
		(87.1)	(11.3)	(1.6)	(100.0)
(4)地域における公園的 な憩いの場	一般市民	20	103	144	267
		(7.5)	(38.6)	(53.9)	(100.0)
	保護者	215	1,019	1,168	2,402
		(9.0)	(42.4)	(48.6)	(100.0)
	教職員	42	136	184	362
		(11.6)	(37.6)	(50.8)	(100.0)
(5)地域のシンボル	一般市民	71	129	69	269
		(26.4)	(48.0)	(25.6)	(100.0)
	保護者	544	1,445	416	2,405
		(22.6)	(60.1)	(17.3)	(100.0)
	教職員	150	173	39	362
		(41.4)	(47.8)	(10.8)	(100.0)
(6)保護者の情報交換・ 交流の場	一般市民	81	156	36	273
		(29.7)	(57.1)	(13.2)	(100.0)
	保護者	1,087	1,168	176	2,431
		(44.7)	(48.0)	(7.3)	(100.0)
	教職員	264	101	8	373
		(70.8)	(27.1)	(2.1)	(100.0)

⑮ 現在の学校の建物や設備に満足していますか。次の(1)～(4)について、もっとも当てはまる番号に○をつけてください。 【児童生徒】(児・生：問6)

小、中学生に現在通っている学校施設・設備の満足度について質問したところ、総体的に「とても・まあ満足している」を選択した回答が多い結果となっている。

これを項目別で、「とても満足」と「まあ満足」を合わせた割合で見ると、小、中学生とも学校の建物や設備は「地震などの災害や犯罪などに対しとても安全である」が約9割で最も多い回答で、その他の項目の「便利で使いやすい」、「快適でいごちがよい」、「全体的に見てとても充実している」についても、それぞれ約8割が満足しているという集計結果となった。



【児童生徒の学校施設の満足度】

上段: 回答者数 下段: 割合(%)

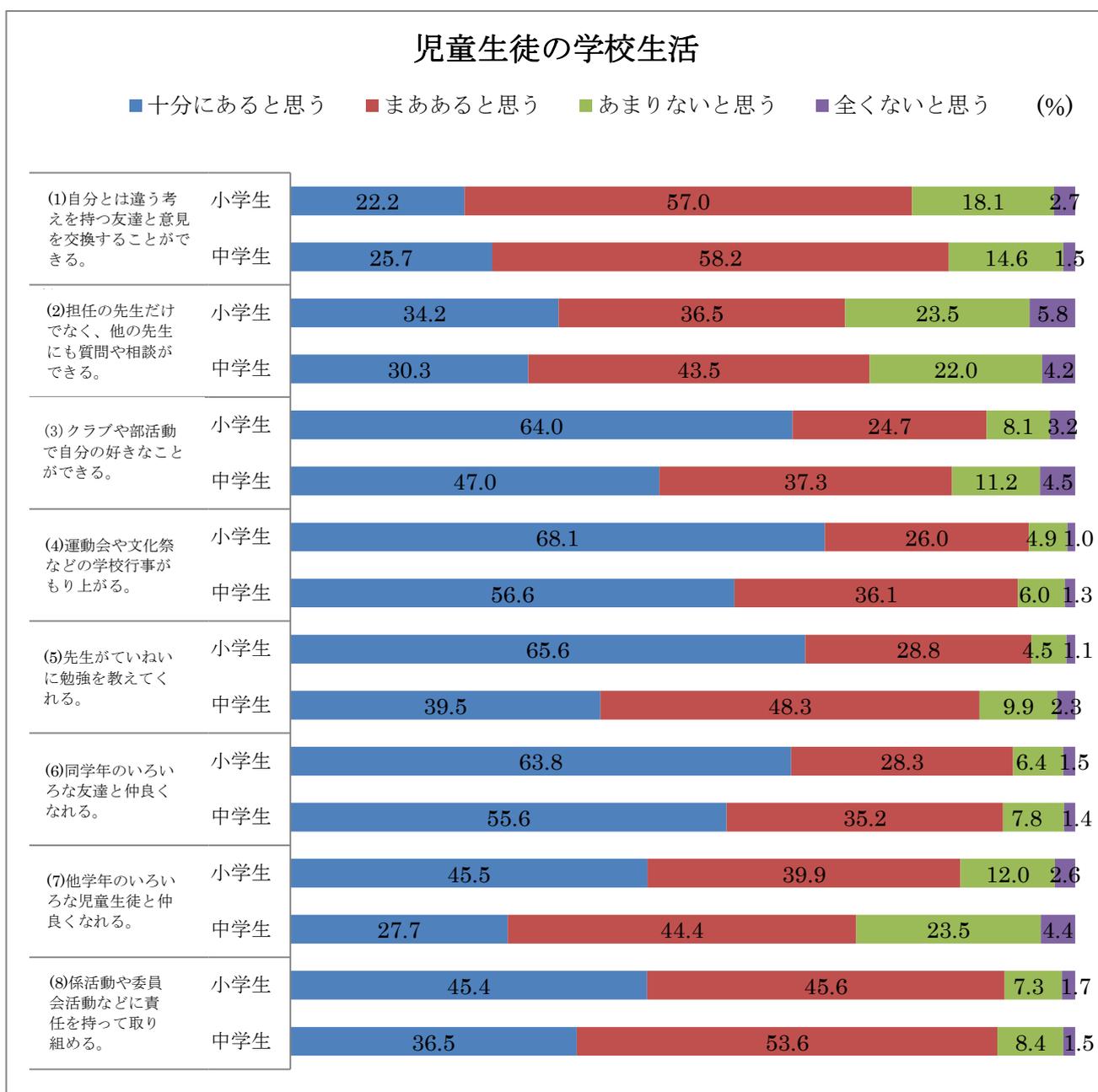
対象区分		とても満足	まあ満足	あまり満足していない	全く満足していない	n計	無回答
(1) 学校の建物や設備は、地震などの災害や犯罪などに対し、とても安全である	小学生	265	431	74	12	782	8
		(33.9)	(55.1)	(9.5)	(1.5)	(100.0)	
	中学生	384	762	126	24	1,296	46
		(29.6)	(58.8)	(9.7)	(1.9)	(100.0)	
(2) 学校の建物や設備は、便利で使いやすい。	小学生	264	385	118	15	782	8
		(33.8)	(49.2)	(15.1)	(1.9)	(100.0)	
	中学生	375	670	206	45	1,296	46
		(28.9)	(51.7)	(15.9)	(3.5)	(100.0)	
(3) 学校の建物や設備は、快適でいごちがよい。	小学生	253	373	132	23	781	9
		(32.4)	(47.8)	(16.9)	(2.9)	(100.0)	
	中学生	330	686	237	43	1,296	46
		(25.5)	(52.9)	(18.3)	(3.3)	(100.0)	
(4) 学校の建物や設備は、全体的に見て、とても充実している。	小学生	256	389	121	16	782	8
		(32.7)	(49.7)	(15.5)	(2.1)	(100.0)	
	中学生	389	660	212	32	1,293	49
		(30.1)	(51.0)	(16.4)	(2.5)	(100.0)	

⑩ 学校生活の中で、次のようなことがどのくらいあると思いますか。次の(1)～(8)について、もっとも当てはまる番号に○をつけてください。 【児童生徒】(児・生：問7)

小、中学生が思う学校生活について質問したところ、総体的に「十分・まああると思う」を選択した回答が多い結果となっている。

これを項目別で、「十分にありと思う」と「まああると思う」を合わせた割合で見ると、小学生では、「先生がていねいに勉強を教えてくれる」94.4%で最も高く、次いで「運動会や文化祭などの学校行事が盛り上がる」94.1%となっている。

一方、中学生では「運動会や文化祭などの学校行事が盛り上がる」が92.7%で、次いで「同学年のいろいろな児童生徒と仲良くなれる」が90.8%という集計結果となった。



【児童生徒の学校生活】

上段: 回答者数 下段: 割合(%)

対象区分		十分にあると思う	まああると思う	あまりないと思う	全くないと思う	n計	無回答
(1)自分とは違う考えを持つ友だちと意見を交換することができる。	小学生	173 (22.2)	445 (57.0)	141 (18.1)	21 (2.7)	780 (100.0)	10
	中学生	333 (25.7)	755 (58.2)	190 (14.6)	19 (1.5)	1,297 (100.0)	45
(2)担任の先生だけではなく、他の先生にも質問や相談ができる。	小学生	267 (34.2)	285 (36.5)	183 (23.5)	45 (5.8)	780 (100.0)	10
	中学生	393 (30.3)	564 (43.5)	285 (22.0)	55 (4.2)	1,297 (100.0)	45
(3)クラブや部活動で自分の好きな事ができる。	小学生	499 (64.0)	193 (24.7)	63 (8.1)	25 (3.2)	780 (100.0)	10
	中学生	607 (47.0)	481 (37.3)	145 (11.2)	58 (4.5)	1,291 (100.0)	51
(4)運動会や文化祭などの学校行事が盛り上がる。	小学生	531 (68.1)	203 (26.0)	38 (4.9)	8 (1.0)	780 (100.0)	10
	中学生	722 (56.6)	461 (36.1)	77 (6.0)	16 (1.3)	1,276 (100.0)	66
(5)先生がていねいに勉強を教えてくれる。	小学生	510 (65.6)	224 (28.8)	35 (4.5)	9 (1.1)	778 (100.0)	12
	中学生	511 (39.5)	625 (48.3)	128 (9.9)	30 (2.3)	1,294 (100.0)	48
(6)同学年のいろいろな児童生徒と仲良くなれる。	小学生	499 (63.8)	221 (28.3)	50 (6.4)	12 (1.5)	782 (100.0)	8
	中学生	720 (55.6)	456 (35.2)	101 (7.8)	18 (1.4)	1,295 (100.0)	47
(7)他学年のいろいろな児童生徒と仲良くなれる。	小学生	355 (45.5)	311 (39.9)	94 (12.0)	20 (2.6)	780 (100.0)	10
	中学生	359 (27.7)	575 (44.4)	305 (23.5)	57 (4.4)	1,296 (100.0)	46
(8)係活動や委員会活動などに責任をもって取り組める。	小学生	354 (45.4)	355 (45.6)	57 (7.3)	13 (1.7)	779 (100.0)	11
	中学生	472 (36.5)	694 (53.6)	109 (8.4)	20 (1.5)	1,295 (100.0)	47

⑰ あなたは、学校が休みのとき、お祭りや地域の体育行事など、地域の行事や活動に参加していますか。次のことについて、当てはまる番号に○をつけてください。 【児童生徒】（児・生：問8）

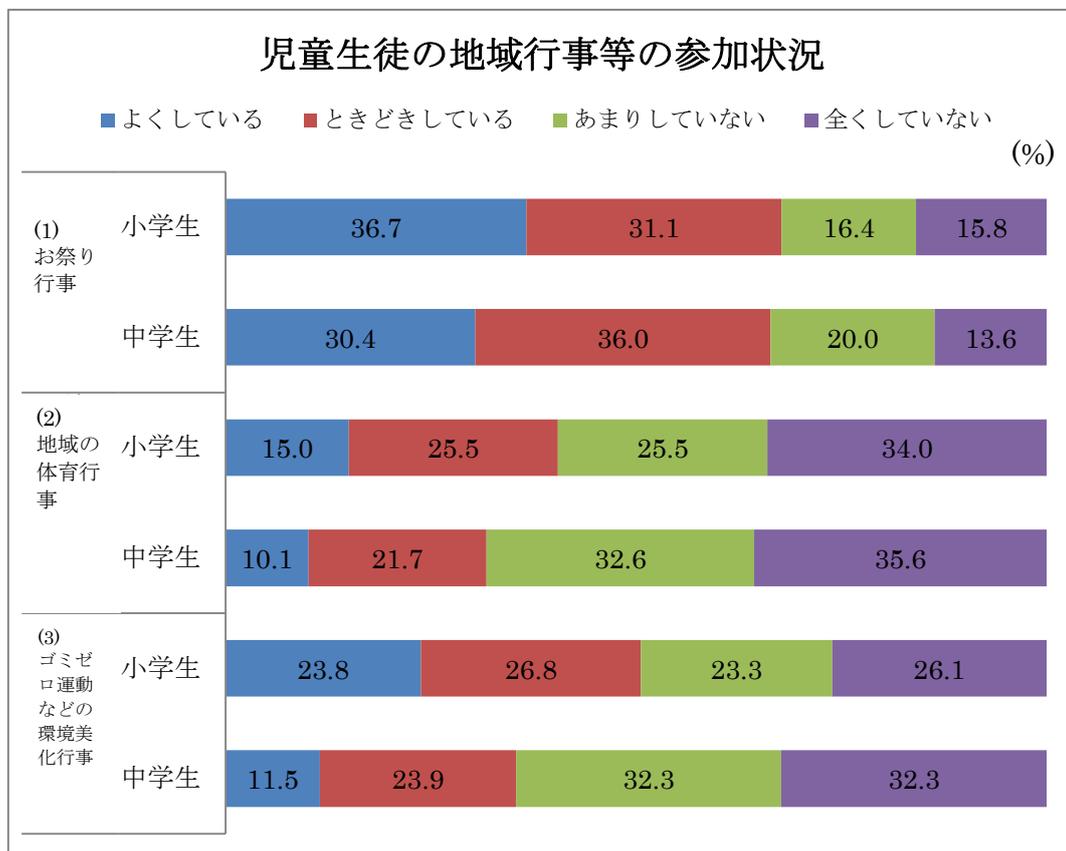
小、中学生に学校が休みの時に地域の行事や活動の参加状況について項目別に質問したところ、「よくしている」と「ときどきしている」を合わせた割合で見ると、「お祭り行事」が小、中学生とも約6割強で最も高い割合となっている。

また、「地域の体育行事」や「ゴミゼロ運動などの環境美化行事」についての参加割合は、小学生は約4割から5割の参加となっているが、中学生になると約3割の参加に減っている集計結果となった。

「その他」については、120人から回答があり、対象区分別に見ると小学生83人、中学生37人となっている。

回答内容を分類した結果は、次のとおりとなった。

分類項目	回答数
子ども会・ジュニアリーダー・かるた大会	40
廃品回収・奉仕作業	9
ラジオ体操	7
神社等の清掃	6
郷土芸能活動	6
あいさつ運動	4
地域の行事や活動とイえないもの	48



【児童生徒の地域行事への参加状況】

上段:回答者数 下段:割合(%)

対象区分		よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	n計	無回答
(1)お祭り行事	小学生	285 (36.7)	241 (31.1)	127 (16.4)	123 (15.8)	776 (100.0)	14
	中学生	390 (30.4)	462 (36.0)	256 (20.0)	174 (13.6)	1,282 (100.0)	60
(2)地域の体育 行事	小学生	116 (15.0)	197 (25.5)	197 (25.5)	263 (34.0)	773 (100.0)	17
	中学生	129 (10.1)	276 (21.7)	415 (32.6)	453 (35.6)	1,273 (100.0)	69
(3)ゴミゼロ運 動などの環境 美化行事	小学生	185 (23.8)	208 (26.8)	181 (23.3)	203 (26.1)	777 (100.0)	13
	中学生	146 (11.5)	304 (23.9)	412 (32.3)	412 (32.3)	1,274 (100.0)	68
(4)その他	小学生	83					241
	中学生	37					

⑱ 最後に、その他ご意見等がございましたら、ご自由にお聞かせください。

【一般市民・保護者・教職員】

この設問についての意見としては、回答者 3,354 人のうち、553 人(16.5%)から回答をいただいた。対象区分別に見ると一般市民 79 人、保護者 441 人、教職員 33 人となっている。

回答があった意見を分類した結果は、次のとおりとなった。

※一人の意見に複数の内容が含まれている場合があるため、意見数の合計と回答者数は一致しない。

分類項目	主な意見	意見数
学校再編(統廃合)	<ul style="list-style-type: none"> ・再編してほしい、してもよい、考えられる ・条件付きであれば再編してもよい ・再編に反対、心配、慎重 ・現状のままでよい ・学校を選択できたらよい ・小中一貫校を希望 ・地域との関係を重視してほしい 等 	240
適正規模・適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数は多い方がよい ・少人数の方がよい(一人ひとりに目が届く) ・小規模校に対するメリット(協調性や深い人間関係が築ける)・デメリット(人間関係の固定化) ・学級数(多くして教員を増やす) ・通学距離は近い方がよい ・学区の見直し 等 	109
スクールバス・通学路	<ul style="list-style-type: none"> ・再編の際にはバス運行を希望 ・再編に関係なくバス運行を希望 ・通学路の安全確保(歩道の整備など) 等 	160
安全・安心・災害・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な施設整備 ・避難所の重要性 ・災害対策(地震・津波) ・不審者対策 等 	51
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する要望や意見(教育内容・部活動・学校開放など) ・人口増加や街づくりに関する意見 ・学校のあり方に関する意見 等 	296